

パブリックコメント項目別意見の概要と市の考え方（対応）

番号	提出いただいたご意見の概要	件数	市の考え方（対応）
1章 計画の位置づけ			
1	<p>本計画書を理念的なものとして位置づけておりますが、理念は計画にはならないのではと思います。最初に具体的なビジョン（5年先、10年先、30年先がどうなる）を示し、それを地域計画とするべきではないでしょうか？</p> <p>具体的なビジョンであればその達成度は具体的に評価できると思います。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画は、地域にある既存施設や人材を、有効に活用し自助・共助により具体化を図っていけるよう、地域福祉の方向性を示していくものです。具体的な事業方針につきましては、分野別計画で対応していきます。
3章 第1期地域福祉計画の評価			
2	<p>ビジネスに身をおくものとしては、本計画は具体性が乏しいといわざるを得ません。また、第一期の評価での基準が何かがよくわかりません。目標指標による評価とっていますが、具体的な数値のないものは、サービスビジネスの世界では評価はできません。すべてが具体的な数値とはいきませんが、やはり、議論のできるレベルの数値はいくつか必要と考えます。</p> <p>サービスではまず、サービスカタログ（施策）を作成し、それを評価するための KPI（Key Performance Indicator）が必要となりますが、この KPI はコストも含め、効果が具体的に判断できる必要があります。</p> <p>行政サービスではビジネスとは違い、コスト的な効果だけでなく、住民の満足度や継続性がより重要になると思いますが、評価という行為は同じです。</p> <p>評価の結果を受けて改善、継続、完了などを判断し、より高いレベルのサービスへと進化させる必要があります。このようにサービスビジネスも行政サービスも、PDCA（Plan、Do、Check、Action）サイクルをきちんと機能させ、進化させるべきですが、今回の計画ではその点がはっきり見えません。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画は、地域にある既存施設や人材を、有効に活用し自助・共助により具体化を図っていけるよう、地域福祉の方向性を示していくものです。具体的な事業方針につきましては、分野別計画で対応していきます。 評価については、第1期計画において定められています「目標指標」に関する各課の進捗状況に基づき、計画策定担当課で評価をさせていただきます。 PDCA サイクルは、計画を実行しその評価に基づき改善に結びつける工程を繰り返すという、優れた仕組みであると認識しています。 みよし市では、行政評価システムにより、各事業の点検・評価を行い、事務事業の改善に努めるようにしています。
3	<p>第1期地域福祉計画の評価がほとんど達成、完了の A ランクとなっております。第1期の地域福祉計画については詳しいことがわからないのですが、どのような計画で評価はどなたがどのようにおこなったのでしょうか。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 第1期計画において定められています「目標指標」に関する各課の進捗状況に基づき、計画策定担当課で評価をさせていただき、みよし市地域福祉計画審議会において、ご報告させていただきます。
4章 基本施策の展開			
基本方針 1			
(2) ① 学校における福祉教育の充実			
4	<p>福祉のまち、みよし市。今後増える高齢者を、皆で支えるためには、子供たちの福祉教育が大切だと思います。共に生きるからこそ、興</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 中学校新学習指導要領総則では、「学校は生徒が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者に対する感謝と

	味を示し、接してみたいという気持ちになると思います。みよし市独自の先進的な施策を打ち出していただき、住みやすい市、一番としての誇りを持てる福祉推進のまちとして、今後の取り組みに期待いたします。		<p>尊敬の気持ちや思いやりの心をはぐくみ、高齢者から様々な生きた知識や人間の生き方を学んでいくことが大切である。」としています。また、高齢者との交流として、「授業や学校行事などに地域の高齢者を招待したり、高齢者福祉施設などを訪問したりして、高齢者の豊かな体験に基づく話を聞き、介護の簡単な手伝いをするなどといった体験活動が考えられる。また、地域の様々な人々との交流を図っていくことも考えられる。」としています。本市の小中学校の中にも、三世代交流の行事を実施している学校があります。今後も各学校において、地域に根ざした特色ある高齢者福祉の学習活動が進められると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者自立支援協議会や学校教育課と情報共有を行い、連携して福祉教育の推進に努めます。
5	居住地交流に行っています。担任の先生によくしていただき、たいへんありがたく思っています。しかし、障がい児に対する理解は全校生徒に及んでいないと思われることが、残念ながらあります。担任、学校にゆだねるだけでなく福祉課、学校教育課で指導内容や指導方法を工夫し取り組んでいただければ幸いです。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校へ就学しても、地域の子どもであることに変わりはありません。そのため、居住地校交流については、本人や家族の願い、対象となる小中学校、特別支援学校の実情を踏まえ、推進していきたいと考えています。子どもたちが、より親しく、自然な形で交流することができるよう、学校教育課としても該当小中学校と協力していきたいと思います。 ・障がい者自立支援協議会や学校教育課と情報共有を行い、連携して福祉教育の推進に努めます。 <p>障がいを持つ子の親たちが取り組んでいる「たんぼぼキャラバン隊」の活動は、児童（生徒）に対する障がいの理解、啓発につながるものです。「たんぼぼキャラバン隊」の方たちとも情報共有を行い、連携して福祉教育の推進に努めます。</p>
6	福祉について、理解を深めるためには、まず、障がい者の存在を知ることから始まると思います。そのためには、単発の関わりだけではなく、日常生活の中で、健常者と障がい者が、当たり前前に生活を共にすることが、自然な形だと思います。地域の学校の普通学級に席をおき、学ぶ場所は違うところであっても、生活する場は同じである環境づくりをお願いしたいです。学校教育課の問題だといわれましたが、福祉課の支えがないと実現できない事だと思いますので、福祉教育の推進のためをお願いいたします。障がい者を知ること、お年寄りも大切に作る心が育ち、皆で高齢化社会を支えていけると思います。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校へ就学しても、地域の子どもであることに変わりはありません。そのため、居住地校交流については、本人や家族の願い、対象となる小中学校、特別支援学校の実情を踏まえ、推進していきたいと考えています。子どもたちが、より親しく、自然な形で交流することができるよう、学校教育課としても該当小中学校と協力していきたいと思います。 ・福祉課と学校教育課とが情報共有を行い、連携に努めます。
7	箱だけでなく、マンパワーの拡充もお願いしたいと思います。地域住民やボランティアの力、子供や学生などが生かせるように、福祉活動教育をしてください。	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市教育委員会では、みよし市教育支援センターを設置しています。その中の学校支援グループでは、学校支援ボランティアとして、近隣大学の学生に小中学校の授業補助の協力をいただいでい

	<p>学校や、幼稚園・保育園、または、悠学カレッジや、地域の集まりなどでの、啓蒙活動の支援をお願いします。</p>	<p>ます。この取組がさらに充実し、福祉活動への広がりができるよう、小中学校と大学生の双方の意見をうかがいながら進めていきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、大学生ボランティアの受入れ、夏休み・冬休み・春休み期間に中学生ボランティアの受入れをしています。また、今年度より園庭を芝生化する事業を実施しており、地域の皆様に植込みや維持管理作業にご協力をお願いしているところです。 ・福祉課と学校教育課や子育て支援課とが情報共有を行い、連携に努めます。
<p>(2) ④ 子どもと高齢者、障がい者とのふれあい機会の提供</p>		
<p>8</p>	<p>子どもと高齢者、障がい者とのふれあい機会の提供について、是非、推進していただくようお願いいたします。単発的なふれあいにとどまらず、継続的に頻繁におこなっていかねばと思ひます。障がいを学ぶだけでなく同じ目的、内容で一緒に活動することで理解しあえることができるように思ひます。理想的なのは子育て支援センター、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設が併設しており、日常的に交流が盛んになればよいのですが。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者がふれあえる機会として、地域において各種の事業を実施していただいています。より地域で交流が出来るようにと土・日曜日にも老人憩いの家は開館しています。老人憩いの家は、高齢者とともに活動するための事業は利用可能です。各施設が併設されていると良いというご意見ですが、施設にはそれぞれの目的がありますので、その考えについては参考とさせていただきます。 ・保育園の子どもと高齢者とのふれあい機会については、世代間交流として祖父母とのおこしものづくり、運動会・発表会への参加、野菜苗植えの手伝い、地域交流の散歩などを実施し、今後も継続していく考えです。子どもと障がい児とのふれあい機会については、障がい児の地域交流事業、園への移行事業や職員の話し合いを行っており、今後も継続していく考えです。 ・併設の考えについては、今後の参考とさせていただきます。
<p>9</p>	<p>障がいのある子どもたちに沢山の出会いを。学生の方のみならず、地域の方々、健常児、高齢者、全ての方と関われる機会がより沢山あることを望んでいます。我が家には豊田養護学校に通う障がいのある子どもがいます。健常児の中で過ごした時代（小学校入学前）に子どもは沢山の事を学ばせていただくことが出来ました。小学校に入学してから、居住地校交流をさせていただき本当に嬉しく思っています。年に数回の交流はとても貴重で子どもはとても楽しみにしております。学校のみならず、より沢山の交流の場をもてたら・・・と望んでいます。障がい児の親たちでも、これからそのような場を企画していけたらと思っておりますが、市の方でもより沢山企画していただくと嬉しいです。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校に就学している子どもたちが、多くの社会体験や地域との交流を行うことができるよう、保護者団体のご意見を伺いながら検討していきたいと思ひます。 ・子どもと障がい児とのふれあい機会については、障がい児の地域交流事業、園への移行事業や職員の話し合いを行っており、今後も継続していく考えです。 ・障がい者自立支援協議会やみよし市社会福祉協議会と情報共有を行い、今後、検討させていただきます。

10	<p>日常的に交流が盛んになれば、お互いを知るきっかけになると思います。そのために、既存の施設で結構なので、子育て支援センターや学童、障がい者、高齢者福祉施設が併設していると、交流がしやすくなり、福祉教育の推進に役立てるのではないのかと思います。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの施設には、利用の目的があります。利用者のことを考えた場合、併設したほうが良いという考えもあるかと思っておりますので、その考えについては、今後の参考とさせていただきます。
11	<p>『子どもと高齢者、障がい者とのふれあい機会の提供』として、体験交流や、体験学習、保育ボランティアの受け入れなど、地域の実態に応じたふれあい機会の提供を推進します。」とありますが、是非、積極的かつ継続的な活動ができるようにしていただければと思います。</p> <p>現在、核家族の我が家でも、高齢者や障がい者と触れ合う機会が、ほぼない状態です。そこで、上記のような交流があれば、小さな子どものうちから、さまざまな立場の人を知り、理解することができると思います。</p> <p>日常的な交流なら、尚更です。</p> <p>高齢者施設や障がい者施設が保育園・幼稚園・学校と併設するなど、生活密着こそが、真の相互理解・思いやり・支えあいに繋がっていくと思います。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域において、高齢者の行事に子どもたちが参加するものもあります。今後もこうした高齢者の行事に支援してまいります。 保育園の子どもと高齢者とのふれあい機会については、世代間交流として祖父母とおこしものづくり、運動会・発表会への参加、野菜苗植えの手伝い、地域交流の散歩などを実施し、今後も継続していく考えです。 子どもと障がい児とのふれあい機会については、障がい児の地域交流事業、園への移行事業や職員の話し合いを行っており、今後も継続していく考えです。 併設の考えについては、今後の参考とさせていただきます。

(3) ① 世代や障がいの有無を越えた交流機会の充実

12	<p>ふれあいバードに参加して 年2回の行事をなんとか 開催しているだけで、魅力ある行事になってないと思います。</p> <p>主催者 障がい者および関係者 ボランティアさんの 参加した感想 意見を反映して開催してほしいと思います。</p> <p>参加してみて、ボランティアさんが集まらなくて、なんとか集めた感じでした。</p> <p>内容も何をしている時間なのか、わからない時間もありました。</p> <p>どうして、ボランティアさんが集まらない会なのか、問題点を改善し 今度も参加してみたいという会になってほしいです。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいバードは、福祉団体、福祉施設及びボランティア連絡協議会の各代表による実行委員会を組織して実施しています。 ご意見については、今後の事業の参考とさせていただきます。
----	---	---	--

(4) ⑤ ひとり暮らし高齢者などへの声かけ、見守り活動の促進

13	<p>民生委員などによる安否確認等の活動の促進とあります。</p> <p>是非、活発な活動を促進していただけるようお願いいたします。現在は民生委員さんが誰だかわからないような状況です。もう少しかわりを多くしていただけるとありがたく思います。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員は、例えば、ひとり暮らし高齢者は、敬老金の配布事業、災害時要援護者支援制度の登録事務、尾三消防と合同で行うひとり暮らし高齢者世帯の防火訪問や住宅防火調査等により、担当地域内の対象把握に努めていますが、全ての把握は難しい状況です。また、家族と同居していたり、健全な高齢者には関わりが薄いこともあります。高齢者に限らず障がい者・児等の情報も同様ですので、担当の民生委員がわからないときは、市役所福祉課か区長に問い合わせてもらえれば、担当民生委員を紹介させていただきます。
----	--	---	---

基本方針 2		
(1) ④ 広報などを活用した情報提供の充実		
14	<p>日々成長する子どもに 1 日でも早い専門家の訓練が必要である一方で、医師の診察がすぐに受けることが出来ない現状に対して、まずは乳幼児健診でそのような専門家に直接話が聞ける機会を設けるとか、医師の診断の有無に関わらず就学前の段階で言語聴覚士、作業療法士による訓練が受けられるように近隣の教室や施設、クリニックを紹介出来る体制を整え、そのような訓練を受ける選択肢もあるという保護者に対する情報提供をみよし市として取り組んでいただければと思います。</p> <p>生まれてきた子どもが正常発達をしなかったり、障がいを持ったりすることは誰にでも起こり得ることです。そういう場合に備えて、これから子どもを生き育てる人に必要な情報を身近に提供し、安心して子育てできるような環境を行政の面から支援いただきたいと思います。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、市が行っている各種子育てサービスに関する情報提供としては、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」として、生後 4 か月までの赤ちゃんのいる全ての家庭を訪問し、保護者から育児の悩みの相談を受けております。また、情報誌として「みよし市子育て情報誌」を市役所などに設置し希望者へ配布しています。発達障がい心配される就園前の児童に対しては、みよし市親子通園事業として「親子通園ルームふたば」において、その心身の発達の助長、集団生活の指導、保健指導、保護者に対する療育上の助言や指導を実施しております。 ・保健センターが行う幼児の健康診査は、心理相談員を配置し健診を行っており、この健診により要観察が必要な児には、事後健診として乳幼児健診、のびのび教室、育児相談を受けられるようにしております。事後健診等では、その児に対して発達の確認をとることとしており、その結果、専門医等による診察等の医療機関の紹介や、療育の場を紹介するなどしています。 <p>このように、児の発達状況を段階に把握し、健診後の教室・相談を実施しながら、市役所内の関係部署との連携、情報提供を図っております。</p> <p>なお、専門医師による受診が受けられない状況は把握しており、豊田加茂医師会にも現状を報告、情報提供をしております。</p> <p>また、保健センターにおいては、月に 1 回言語聴覚士によることば相談、心理相談員による発達相談を実施しており、受診できない児などの助言をしています。</p>
(2) ③ 子育て相談窓口の充実		
15	<p>子育て相談窓口の充実の項について、「関係機関と連携を図りながら」とありますが、公的私的に関わらず、既存の近隣関係機関との連携の充実や利用者への情報提供を願います。</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供としまして、「みよし市子育て情報誌」を「こんにちは赤ちゃん訪問事業」、「保健センターが実施している健康診査」、で各家庭に訪問した際に、また子育て支援センターで各種教室事業への参加者に対して、さらに市役所などの公的機関や私立幼稚園などに設置し希望者へ配布しています。 <p>子育てに関して相談のあった案件につきましては、相談者に対して市内外に係らず相談内容を所管する機関を紹介するとともに、相談者の同意を得て当該機関に案件を連絡したり、引き継ぐなど体制をとっております。</p>

(3) ② 高齢者や障がい者が利用しやすいような配慮		
16	現在の市の施設のトイレは、利用しにくい（利用出来ない）です。 車椅子用に広くし、オストメイトと大人サイズのベットのあつ多目的トイレに改築をお願いします。 既存施設で階段がある建物には、エレベーターを増設してください。	4 ・新庁舎建設事業において、多目的トイレを取り入れる計画をしていますが、限られたスペース中でできる限りの対応をさせていただきます。 既存施設に関しましては、今後の参考とさせていただきます。
(3) ③ 福祉サービス提供事業所の整備の促進		
17	市内には障がい者福祉施設は大変少なく、重度障がい者のための福祉施設は、まだないようです。	1 ・重度障がい者の福祉施設は1ヶ所ありますので、内容の修正をさせていただきます。
18	福祉サービス提供事業所の整備の促進とありますが、どのような計画が進んでいるのでしょうか。現時点の状況に“市内には障がい者福祉施設は少なく定員も飽和状態にあります。また、重度の障がい者や精神障がい者のための福祉施設はありません”とあります。重度障がい者の福祉サービス提供事業所を増やしていくことを要望します。	2 ・地域福祉へとサービスの比重が推移しつつありますが、依然として不可欠な施設サービスについては、その充実を目指します。 ご意見については、近隣市町の状況を参考にしながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。 また、重度障がい者の福祉施設は1ヶ所ありますので、内容の修正をさせていただきます。
19	重度障がい者、障がい児の利用できる事業所がみよし市に1ヶ所でき、とても嬉しく思っています。しかし、利用人数に限りがある為あまり利用できずにいます。もう少し事業所が増えることを望みます。	3 ・ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
基本方針3		
(1) ⑦ 各年代やニーズに応じた生涯学習の内容充実		
20	生涯学習活動において 「寿大学、公開講座などを開催し、高齢者の交流や身近な施設での学習活動を推進します。」 「子供から高齢者まで各年代に対応し、市民の学習ニーズを反映させた内容の生涯学習講座を開催します。」 とありますが、パソコン関連の講座は多いがそれ以外はさびしいかぎりです。	1 ・高齢福祉関係では、最近、介護予防に関心のある方が増えてきており今後も、介護予防として、運動・栄養管理などの予防講座等を推進してまいります。 ・基本方針3（1）① 生涯学習活動への支援、⑦ 各年代やニーズに応じた生涯学習の内容充実を目的に、各種の生涯学習講座や発表会を開催しています。 生涯学習課が平成21年度に開催した生涯学習講座は合計156講座1,212回3,159人でした。その内、パソコン関連講座（情報通信講座）は、53講座488回1,167人で全体からみた割合は約3分の1でした。 また、学習成果の発表の場の提供と学習者相互の交流を目的に生涯学習発表会を開催しました。平成21年度実績として36団体、参加者626人、観客数2,998人でした。なお講座の詳細は以下のとおりです。 1 公民館講座開催事業 （1）前期6講座35回103人 （2）後期5講座28回85人 （3）サマースクール11講座11回336人 2 生涯学習活動事業 地区生涯学習講座15行政区17講座180

			<p>回 227 人</p> <p>3 みよし悠学カレッジ講座運営事業 (1) 生活創造講座 21 講座 83 回 414 人 (2) 国際理解講座 21 講座 182 回 405 人 (3) 情報通信講座 53 講座 488 回 1167 人 計 95 講座 753 回 1,986 人</p> <p>4 高齢者教室開催事業 5 講座 35 回 211 人</p> <p>5 生涯学習発表会開催事業 (1) 芸能発表 17 団体 400 人 (2) 展示発表 17 団体 189 人 (3) 茶会 2 団体 37 人</p> <p>6 勤労青少年ホーム教養講座開催事業 (1) 前期 9 講座 90 回 111 人 (2) 後期 8 講座 80 回 100 人</p>
21	<p>高齢者の能力知識を活かし、やりがいのある仕事として、高齢者を生涯学習の講師として育成することが良いと思います。</p> <p>そして育成した講師をシルバー人材センターに登録し、高齢者を生涯学習あるいは企業の教育の講師として活用できるようにします。</p> <p>またこれにより多くの学習ニーズを反映させた内容の生涯学習講座が開催できるようになると思われます。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の能力や知識を生かすため、シルバー人材センターに登録し、登録者にあった業務を行っています。今後も、更に幅広い分野に対応できるようにと思いますので、ご意見については参考とさせていただきます。 ・生涯学習課では、生涯学習活動の人材の発掘と活用を進め、生涯学習活動の一層の振興を図るため、生涯学習活動に関する指導者を登録し、生涯学習活動への指導者の派遣を希望する住民や団体等からの求めに応じて、紹介する「みよし市生涯学習活動指導者登録制度」があります。
22	<p>三好丘および三好町は彫刻の展示されたアートの街としての魅力を感じ入居しましたが、今はアート関連の事業は何もありません。</p> <p>生涯学習の講座にもアート関連は少なく、あっても競争倍率が高く受講しにくくなっています。</p> <p>これに対して、芸術家のタマゴの育成を兼ね、若い芸術家を活用した講座を開催していただきたい。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・開講する講座の内容決定に際しては、受講生や住民アンケート等に基づき企画し、運営委員会の意見を参考にし決定しています。 <p>講座として住民ニーズがあり講師として適当と判断されれば検討してまいります。</p>
23	<p>現在、生涯学習の受講場所は、なかよし地区とのみとなっていますが、人口が多いきたよし地区にもぜひ受講場所をもうけていただきたい</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度の生涯学習講座の地域別申込者数の割合は、ほぼ平均的でした。(なかよし地区 1.8%、みなよし地区 1.3%、きたよし地区 1.7%) <p>平成 21 年度の受講場所は、学習交流センター、中央公民館、勤労青少年ホームを主体としてきました。</p> <p>また、将来的に予定されている「図書館機能及び生涯学習機能を中心に配置した複合施設基本構想」も場所は、なかよし地区となっております。</p> <p>それ以外の受講場所については、今後検討してまいります。</p> <p>なお、地区生涯学習活動事業により各行政区に生涯学習推進委員を設置し、各行政区で開催する生涯学習講座に支援をしていますので有効に活用してください。</p>

(2) ④ 障がいに応じた支援サービスの充実			
24	早期発見、早期療育の為に、すぐに医師の診察を受けられる体制をお願いします。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医師の診察がすぐに受診できない状況を把握しており、保健センターにおいて月に1回、言語聴覚士によることば相談・心理相談員による発達相談を実施しており、受診できない児などの助言をしています。
25	<p>みよし市の場合、知的障がいのない軽発達障がい児には、就学前の時期に“ふたば”での保育士による療育があります。ここでの療育はとても実用的、実践的で幼稚園、保育園での集団生活に入るに当たっての準備として素晴らしい成果を上げていると思われま</p> <p>しかし、みよし市には子ども専門の言語聴覚士や作業療法士の指導を受けられる教室や施設、クリニックがありません。おそらく、そういった専門家の指導を受けるためには、豊田市子ども発達センターの児童精神科の医師に診ていただいた後、必要を訴えた場合に受けられるというのが現状であると思われま</p> <p>しかし、発達センターの診察は大変混んでおり1年待ちなどの状態です。</p> <p>これら軽発達障がい児は知的障がいがないので、就学前の段階では親でも気づきにくく、もし気づいたとしてもそれが障がいであると受け入れることは難しいです。</p> <p>そして就学後に長時間座って先生の話聞く段階になって、先生の話が理解できずその場から逃げようとしたり、感覚の不統合からくる多動などの問題行動が現れることで周囲が初めて気づくことが多いです。</p> <p>ただ、これらの行動は専門家による就学前からの訓練によって改善が見込めます。言葉の遅れがある場合は、言語聴覚士による指導により子どもへの話しかけ方を親も学ぶことが出来、日々の生活の中の取り組み、就学までに先生の話を理解できるレベルにまで上げることが可能です。また多動についても同様で、作業療法士による感覚統合の訓練などで、多動のコントロールの仕方や不器用さ運動能力の改善の仕方も親も一緒に学ぶことが出来、日々の生活の中で親が出来ることが増えます。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市子ども発達センターが受診までにかなりの日数を要する状態であることは、認識いたしておりますが、本市の児童の待機期間を短くすることはできませんので、ご容赦ください。 しかしながら市内や周辺市町には、子ども医療で対応できる豊田市子ども発達センターに代替する医療機関があり、ご相談いただく中でご紹介させていただいております。 また、親子通園事業施設「親子通園ルームふたば」で、作業療法士や心理相談員を講師として招き、保育士や保護者が療育指導を受講していただいております。 さらに、豊田市子ども発達センターの職員による勉強会や個別相談などの療育支援も受けており、専門医の受診に至るまでの間の支援体制の充実には、今後も取り組んでまいりたいと考えています。 ・豊田市子ども発達センターの現状は把握しており、そのような状況は市役所内の関係部署で情報の把握をしております。 発達障がいの疑いのある児への診断、治療、訓練を行うまではしていませんが、保健センターにおいて、月に1回言語聴覚士によることば相談、心理相談員による心理相談を実施して助言をしています。
26	緊急の場合の児童のショートステイ、児童デイサービスなどのサービスを充実し、いざというときに安心できる施設サービスの促進をお願いします。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者自立支援協議会と情報を共有し、今後、促進についての検討をさせていただきます。
27	<p>障がい者の方への支援サービスを充実してください。</p> <p>私には障がい児を持つ友人がいます。日常生活の支援を必要としていますが、現状の支援だけでは、まだまだ、足りないこともあるようです。</p> <p>たとえば、ヘルパーさんの車での送迎ができないこと。</p> <p>実際問題、現状のヘルパーさんの活動だけで</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・みよし市の移動支援は、旧法支援費制度の移動介護の内容を基準としています。 移動介護では、送迎を認めていなかったことから、現在も移動支援では送迎を認めていません。 送迎のニーズが多いのも確かですが、対応できる事業所が少ないこと、市の予算が限られていることから、もし送迎を許可すると、移動支援の支給量に制限を設ける必要が出てきま

	は、障がい者家族の負担は、あまり軽減していないようです。 是非、ルールの変更をお願いしたいと思います。		す。みよし市としては、移動支援の内容は社会参加的な活動とし、支給量も個々の相談に応じて決定させていただくようにしています。
28	名古屋市では、ヘルパーが学校送迎や日中活動の場、作業所などの送迎ができます。みよし市もぜひお願いいたします。みよし市ではできない理由を教えてください。	6	ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
29	障がいに応じた支援サービスの充実とあります。具体的にはどのような計画があるのでしょうか。どのような障がいを持っていてもサービスが受けられる体制にしたいと思います。	2	・居宅介護等の訪問系サービス、生活介護、就労支援等の日中活動系サービス、グループホーム等の居住系サービス、専門機関との連携による相談体制の推進を図ります。
30	親の死後、子どもが生きていくためには介護などのサービスの他に財産管理や契約を結んだり、保証人が必要なことが多々あります。成年後見センターをつくっていただき成年後見人を養成したり、講座を開くなど周知をはかっていただくなどの事業をおこなっていただくようお願いいたします。 知多地域成年後見センターのように近隣市町と協力して成年後見センターの設立をお願いします。	5	・みよし市単独での成年後見センターの設置は難しいと考えます。 ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
31	豊田市には障がい者計画推進懇話会が年3回開催されます。 今回は日中活動場所の確保推進計画の策定と障がい者理解の促進のための取り組みについてでした。 懇話会での、意見を集め、市がきちんとデータを集め、施策をまとめ、また、懇話会で意見を聞く。みよし市でもこのような会を開催して地域福祉を推進していただきたいです。	1	・ご意見については、みよし市では障がい者自立支援協議会が該当するものと考えますが、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
32	豊田養護学校にみよし市からスクールバスを出して頂きたい 現在、豊田養護学校にみよし市から出ているスクールバスがありません。私の子どもは1年生から豊田市のみよし寄りのバス停からバスに乗せていますが、今、そのバスもいっぱい状況です。バスに乗りたくない他の子どもたちが乗れません。みよし市からも是非スクールバスを出して頂きたい。	8	・みよし市から豊田市立豊田養護学校へ就学している子どもたちと保護者のみなさんの通学については、毎日のことであり、家庭生活において負担がかかる場所と認識しています。スクールバスの運行については、運行経路、経費の算出等、今後、調査活動を進めていく予定をします。
33	名古屋市の日曜学校、青年学級のような週末の障がい者、障がい児の余暇活動の場を提供して頂けると大変嬉しく思います。	4	・ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
(2) ⑤ 親子通園事業の充実			
34	現在、ふたばに通園しています。 診察を勧められたお母さんの中には、豊田市子ども発達センターに予約の電話をしたところ初診が1年待ちと言われ、診察を諦めてしまう方がいます。 ふたばの子どもたちは皆、保健センターの健診で紹介されて通園しています。	2	・豊田市子ども発達センターが受診までかなりの日数を要する状態であることは、認識いたしておりますが、本市の児童の待機期間を短くすることはできませんので、ご容赦ください。 本市のセンター受診に代替するものとしては、親子通園事業施設「親子通園ルームふたば」で、作業療法士や心理相談員を講師として招き、保育士や保護者が療育指導を受講していただいております。

			す。また、豊田市こども発達センターの職員による勉強会や個別相談などの療育支援も受けており、医師の受診時に至るまでの間の支援体制の充実に今後も取り組んでまいりたいと考えています。
(3) ① 高齢者の就業機会の提供			
35	「高齢者が健やかで生き生きとした老後の生活を維持できるよう、地域において安全で働きやすい就業の機会を確保するため、シルバー人材センターの運営を支援します。」とありますが、シルバー人材センターの仕事内容は草刈、駐輪場の整備等ぐらいしかなく、「高齢者の能力を活かした就業機会の提供」とはなっていません。	1	・シルバー人材センターでは、高齢者の健康づくりや生きがいづくりの推進が目的のひとつとなっています。仕事内容は草刈、駐輪場の整備、清掃、自動車部品製造等と各種の業務を行っていますが、需用がどの程度あるか。またその業務内容がどのようなものかによって、仕事内容が決まってくるので、今後も幅広い分野の需用に応えられるようシルバー人材センターへお願いしてまいります。
(3) ② 障がい者の雇用に対する支援			
36	障がい者本人の就業場所の支援もお願いできないでしょうか？ 東郷の「いこまい館」のように、公的機関として積極的に働く場所を提供できると思います。	1	・ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、関係部局と連携しつつ、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
37	障がいのある人が企業に就職した場合、企業での仕事をスムーズに覚えられるように、障がいがある事を理解して、指導して下さるジョブコーチをつけていただきたいです。	4	・西三河北部障がい者就業・生活支援センターと情報共有を行い、連携に努めます。また障がい者自立支援協議会の就労支援部会でも検討していきます。
(3) ⑤ 放課後児童クラブの受け入れ体制の整備			
38	障がい児、高齢者がいても働く機会を与えてほしいと思います。現在、障がい児は放課後児童クラブには通うことができません。それにかわる福祉サービスも充実していません。是非学童保育にも障がい児受け入れを、また福祉サービスを充実し、母親が働く機会を与えてください。	3	・本市の放課後児童クラブではみよし市立小学校へ入学され、既存の小学校設備で対応が可能な場合は、指導員も通常より多く配置するなどして体制を整えて、受け入れております。
39	「誰もが働きやすい就業環境の整備」を充実させてください。 母親も安心して働けるように、希望者には小学生の放課後活動を行うことはできませんか？ 現在のように、学童保育を希望しても、手続きが煩雑だったり、場合によっては受け入れていただけない状況では、なかなか、安心して、お願いできません。	1	・現在実施している放課後児童クラブの類似事業として、教育委員会が実施する「子ども教室」事業がありますが、本市では実施しておりません。ご指摘のように入所に要する書類は、放課後児童クラブのほうが多く、希望者の方にはお手数をおかけいたしております。 入所申込みに際しては、1日4時間以上、1ヶ月に15日以上定員以上就労されている保護者の方に養育されている児童を対象とさせていただいております。 また、定員以上の申込みがあった場合には待機になる場合もありますので、ご理解ください。
40	母親が働きやすい保育環境の充実をお願いします。今後、政府は学童保育整備を義務化し、市町村に施設の整備、運営などを義務付け年齢幅を広げ、利用時間も延長する計画だと聞きます。みよし市はそれに先駆けて放課後児童クラブの受け入れ態勢の充実をしていただくよう要望します。	1	・本市では、本来は3年生までのところ、1年延長し4年生まで受け入れしております。 利用時間は放課後から18時までです。 長期休業期間・祝日・学校休業日の場合は、9時から18時までですが、長期休業期間は8時からご利用いただけます。

			<p>また、23年度からは、祝日及び代休日も8時からご利用いただけます。 今後も利用される市民の方のご意見を伺いながら、事業の充実に努めてまいります。</p>
(4) ③ 交通安全施設などの整備促進			
41	<p>交通安全や防犯活動の一環として、街灯の拡充をお願いします。 最近では、以前よりも街灯が多くなったように思いますが、やはり、まだまだ暗くて怖いような道路もあります。 エコの観点からは、煌々とライトをつけることは、問題かもしれないけれど、人感センサー付のライトや太陽光発電ライトなど、設置ができないか、考えていただけないでしょうか？</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 道路照明灯は、道路の変化点（見通しの悪い屈曲部、道路の幅員構成が急激に変化する場所）、交差点、橋梁部、横断歩道等に設置しています。夜間暗いという理由から道路照明灯を設置していません。現在、消費電力から環境にやさしいナトリウム灯などにより整備を行っております。 行政区からの要望により防犯灯の設置をしております。 防犯灯は自動点滅器が作動し点灯するようになっており、人感センサーの設置は考えておりません。また、環境面にも配慮し、今年度よりLED型防犯灯を導入しました。
(4) ⑦ 特別養護老人ホームなどの高齢者施設の充実			
42	<p>障がいのある子の親の死後、子どもたちが困らないように介護施設の充実をお願いします。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 介護施設は、介護保険制度に適用する施設で、介護認定された方が利用することが出来ます。今後とも介護認定状況を踏まえ、計画し整備してまいります。
43	<p>高齢者施設や、障がい者施設の充実をお願いします。 以前は幼稚園・保育園の数が少なく、子どもの入園に苦労しましたが、市内の幼稚園・保育園の数も増え、子どもの受け入れ先についての心配がなくなりました。 今後は、高齢者や障がい者が増えているのに、現状、受け入れ先が十分でないと感じています。 私たち市民も将来、必ず高齢者になります。また、障がい者になることもあるかもしれません。そんな場合でも、安心して暮らせるように施設の設置をお願いします。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設としては、特別養護老人ホームなどの介護施設があります。このような施設は、介護保険制度に適用する施設で、介護認定された方が利用することが出来ます。今後とも介護認定状況を踏まえ、計画し整備してまいります。
44	<p>特別養護老人ホーム内に障がい者デイを組み込むと明記されていますが、その対象者は誰でしょうか？</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 現在、市内の特別養護老人ホームで、障がい福祉サービス「日中一時支援事業」の指定を受けていただいています。対象者は、「日中一時支援事業」の支給決定対象者のうち、身体障がい者・児、知的障がい者・児、発達障がい児です。
(4) ⑧ 地域との連携によるグループホーム・ケアホームの設置			
45	<p>地域との連携によるグループホーム等の設置と書かれていますが、ケアホームも含まれていますか？ケアホームの設置も明記してくださいようお願いします。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ご質問の内容のとおりです。明記させていただきます。
46	<p>将来的に親が我が子の介護をできなくなる時が必ず来ます。その時に安心して預けられる生活の場としてケアホームを造って頂きたいです。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。

基本方針4			
(1) ② 地域におけるボランティアの育成			
47	<p>私が住んでいるきたよし地区の近所付き合いへの関心は、『あいさつ程度』となっていました。</p> <p>確かに子供同士が仲良くさせていただいて、行政区で役員などを一緒にやった、などがなければ、それぞれの暮らしにかまけて『あいさつ程度』になってしまうでしょう。そしてそれは、もしかして、お互い何処まで立ち入っていいかが分からない、しかし仲良くはしたい…の形かもしれません。</p> <p>それでも暮らしに困る事はありませんが、しかし、障がい児、高齢者を抱えるご家庭には、どうしても家族だけでは手が足りない、精神的な支えも欲しい…等、地域のその関係だと困ることが多いでしょう。</p> <p>一番いい事は、地域での支え合いですが、前出の様に、何処まで立ち入ったらいいか、何をしたらいいかが分かりません。</p> <p>また、ボランティアをしてみたくても、どうしたらいいか分からない方、または各々によって出来る度合いも違うでしょう。</p> <p>まずは、自分たちが住んでいる地域の現状を、もっと多くの方が知る事が出来ると、もっと多くの方が『何か出来ること』をそれぞれ探す、いいきっかけになると思いました。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報発信を充実してまいります。
48	<p>シルバー人材センターの方がたにも放課後や休日の見守り支援のボランティアのご協力をいただければと思います。少しの間の見守りが必要なことがよくあります。そんなときにご協力いただくことはできないでしょうか。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や休日の見守り支援について、シルバー人材センターに協力を求めることは出来ますが、より身近で体制をとるためには、地域に協力を求めることがよいと考えられますので、地域の高齢者団体に協力をお願いすることも一つの方法と考えられます。
49	<p>ボランティアセンターにボランティア登録をしてある会員数 4,044 人とありますが、実働しているボランティアの方ははるかに少ないように思います。</p> <p>実際に働けるよう情報の発信やボランティアを受けたい人の把握、ボランティア講座のさらなる開設、ボランティアさん同士の交流など充実していただくような計画を促進してくださいようお願いします。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの活動内容によって、希望される人数の多少があります。 ボランティア講座は、毎年実施しています。 ボランティア同士の交流は、ボランティア連絡協議会で行っています。今後、充実を図ります。
50	<p>ボランティアの実働している方が、少なく感じます。実際、ボランティアを受けたい人の把握、実際に働けるような情報の発信や、講座などの更なる開設、交流など、充実していただきたい。学生やフリーターなど、若い方を育ててほしい。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もボランティアの充実に努めます。
(1) ⑤ 若いボランティアの育成推進			
51	<p>障がいのある子ども達にも充実した日々のために、学校と地域の連携により体験活動の促進の中で学生ボランティア事業も行って欲しいです。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の学校に働きかけを行っており、今後も引き続き行ってまいります。

(3) ② 社会福祉協議会の活動支援			
52	福祉センターをもっと広く活動できないでしょうか？ 福祉センターを週末に開館するとか、福祉活動を他のイベントと同時にを行うとか、または、現時建設予定の新規市役所の建物内に事務所を置くなどして、あらゆる年代・状況の人にも、みよし市の福祉活動を知ってもらうようにできると、理解が広がり、人の輪が繋がると思います。	1	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターをいつもご利用いただきありがとうございます。 福祉センターは、主に市内の高齢者を対象に、健康管理やその増進、教養の向上、レクリエーションへの供与をし、高齢者が健康的な生活が出来るように支援する施設となっていますが、出来る限り、多くの方による交流を踏まえた利用をお願いしたいと考えています。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
53	私たちは主に福祉センターを活動の場として使わせていただいています。子供と一緒に活動しようと思うとどうしても週末になるのですが、週末は休みのため余暇活動の場所に困っています。そこで福祉センターの週末の開放をお願いします。	5	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターをいつもご利用いただきありがとうございます。 市内には、サンアート・地区公民館・ふれあい交流館（旧中央公民館の代用施設）などがあり土日曜日でも地域でのサークル活動の場として、是非活用していただきたいと考えています。 高齢者には、地域に老人憩いの家があり、土・日曜日でも開館していますので、高齢者と一緒に地域での交流に、老人憩いの家をご利用いただけたらと思います。 社会福祉協議会は、市の条例を遵守し、指定管理者として実施しています。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
54	定期的に行う余暇活動の為に豊田養護学校に通うみよし市在住の子ども達の親同士で親の会を結成しました。 週末に活動するにあたり、利用できる施設がより沢山あることを望みます。 平日の活動では、福祉センターを利用させていただき本当にありがたく思っております。しかし週末は利用することが出来ずに困っております。 公共の未使用施設等の有効活用等とありますが、週末に利用させていただけると助かります。	1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者には、地域に老人憩いの家があり、土・日曜日でも開館していますので、高齢者と一緒に地域での交流に、老人憩いの家をご利用いただけたらと思います。 社会福祉協議会は、市の条例を遵守し、指定管理者として実施しています。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
(3) ⑤ 障がい者団体などへの支援の充実			
55	福祉センターや公民館などを活動の場所として使うことが多いと思います。 頻繁に使うとなると使用料はかなり負担となります。地域住民だけでなく誰もが使い、福祉団体、ボランティア団体などに利用料の減額があると助かります。	2	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい交流館は、利用登録された方が使うことができ、その使用料については、福祉団体やボランティア団体の使用する目的に公益性があれば減免できる規定になっています。使用目的により判断することとなります。 地区公民館は、施設の成り立ち、経緯から地域の人たちの利用の優先と使用料の優遇をすることが多い現状です。 福祉センターについては市内の高齢者を対象に、健康管理やその増進、教養の向上、レクリエーションへの供与をし、高齢者が健康的な生活が出来るように支援する施設となっています。よって、今後も高齢者を中心とする各種の事業に利用をと考えています。社会福祉に関する利用は無料となりますが、介護保険事業に関しては規定のとおりとなります。
56	公共施設の人が集まる場所での障がい者団体、ボランティア団体等が行う店などのスペースを設けるなどの支援もお願いします。	1	<ul style="list-style-type: none"> ご意見については、近隣市町の動向を見ながら、今後の福祉施策の参考とさせていただきます。
57	障がい者団体、ボランティア団体等が行う活動に対する支援の充実を図るとありますが、	1	

	どのような支援の充実をしていく計画ですか？ 公共施設の人が集まる場所で障がい者団体、ボランティア団体等が行う店などのスペースを設けてくださるなどの支援もお願いします。		
58	障がい児の親の会が主催する活動のサポート場所の提供をお願いします。	1	
59	障がいを持つ子どもの親も、ただお願いするということだけでなく、自分たちにできることは精一杯やりたいという思いを持っています。親たちが活動していくためのサポートもいただければと思います。 子どもたちの幸せな未来のために。	1	
60	地域でサービスを利用しやすい体制づくりのために 障がい者の親の会を始めました。豊田市では、こういう会に対して、社会参加事業費があります。みよし市も同じような支援をお願いします	1	・現在も、障がい者団体やボランティア連絡協議会への補助はさせていただいております。今後も、障がい者団体、ボランティア団体との情報交換を積極的に行い、実情に応じた支援を行います。
61	障がい者団体、ボランティア団体等が行う活動に対する支援の充実を図るとありますが、どのような支援の充実をしていく計画ですか？補助金等がありますか？	1	
(4) ① ボランティア・NPO活動に関する情報の提供			
62	ボランティア、NPO の活動促進で情報コーナーの設置とありますが、どこかに掲示してあるものは忙しくしているとなかなか足をとめて見ることはありません。 子どもが学校から持って帰る案内でも知らせていただけるとわかりやすいと思います。子ども達にも地域福祉活動を担う人材の育成になると思います。 そして具体的にどのようなニーズがあり必要とされているのかがわかり、交流の機会に参加する人が多くなればもっと互いに思いやれるのではないかと思います。 何気なく暮らしていると知らないことが多いので、まず知る機会が増えるとういのではないかと思います。	1	・情報コーナー設置は、より多くの方に情報を伝え、活用いただくことが目的となります。 そのため、『基本方針1の(2) 学校・家庭・地域における福祉教育の推進』の施策とあわせて、より効果的な情報発信を検討します。 ・情報の発信(掲示物、内容等)がよくわかるように工夫してまいります。 ホームページ等の充実を図ります。
63	ボランティアやNPOに関する情報が一目でわかるような情報コーナーの設置とありますが、是非、目に留まりやすい場所での設置をお願いします。現在の福祉センターなど、特定の方しか足を運ばない場所では情報が広がりにくいと思います。	1	・NPOに関する情報は、市民活動サポートセンター(学習交流センター内)を拠点として発信しています。多くの方にサポートセンターが発信する情報を活用いただけるよう、引き続き啓発に努めます。
64	ボランティアやNPOに関する情報が一目で分かるような情報コーナーの設置とありますが、もっと誰もが目に留まりやすい場所での設置や、ホームページでリンクできる体制など、充実させてください。今の時点ではどこにありますか？	1	情報コーナーについては、多くの方の目に留まりやすい設置場所を検討します。また、より身近な場所で情報を受け取ることができるよう、ホームページ掲載情報の整理や検索性の向上など、ホームページによる情報発信の充実を検討します。 ・情報の発信(掲示物、内容等)がよくわかるように工夫してまいります。 ホームページ等の充実を図ります。

(4) ⑤ ボランティア活動に関する講習会・研修会の実施			
65	みよしでボランティアさんをお願いするのは 困難な状態です。 市内の企業 学校などのボランティアグループさんなどの情報を集めて、お願いできる体制作りをお願いします。	1	・企業、学校等関係機関のご協力を得ながら調整してまいります。
66	福祉に対してボランティアが活動しやすいようにサポートの充実をお願いします。 障がいのある子どもにどのように接したらよいか、講座を開いたり、ボランティア同士の交流の場をつくったり、場所の提供などをお願いします。(たんぼぼキャラバン隊の講演を見て感動しました)	1	・ボランティア講座は、毎年実施しており、今後もその中で計画してまいります。 場所についてのご意見は、今後の参考とさせていただきます。
67	サマースクールを少しでも多くの人数、多くの日数で開いていただくようお願いします。 障がい児は長い夏休みの間家にとじこもりがちです。ボランティアの力をお借りするなどして楽しい夏休みの思い出をつくってあげたいです。	1	・ご意見を参考にさせていただき、事業の推進に努めます。
5章 計画の推進体制			
68	高齢化社会や障がい者問題など、福祉はコストがかかるが、利益は生まないものであり、非常に難しい問題ですが、みよし市民の英知をつくして真剣に検討していくことを希望いたします。小生も微力ながら協力していきたいと考えております。	1	・ご意見に沿えるよう事業展開を進めてまいりますと思います。
69	目標として掲げられている地域住民が互いに思いやり、支えあい、誰もが安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり、たいへんすばらしく理想的なものだと思います。是非、そのようなみよし市になるよう行政、市民が互いに協力しあいその目標に近づいていきたいと思います。 福祉のまちとうたうからには、どの地域でも行われていることだけでなく、みよし市に誰もが住みたいと思わせるような独自の先進的な施策を是非行っていただけるようお願い致します。みよし市は先の民間の調査において誰もが住みたい市のトップとなりました。住みやすい市いちばんとしての誇りの持てる福祉推進のまちとして今後の取り組みを期待します。	1	
70	「地域住民が互いに思いやり、支えあい、誰もが安心して、いきいきと暮らせる福祉のまち」になりますよう、期待しております。どうぞよろしくお願い致します。	1	
資料 計画策定への参画			
71	地域福祉計画を立てる際に、親の会も参加できると、現状を把握しながら作成できると思います。話し合いの場所に、親の会も参加できますか？	1	・地域福祉計画審議会において、市民代表の募集をさせていただいています。また、団体ヒアリングにおいて、障がい者団体のご意見もヒアリングさせていただいています。